

会 議 録

会議の名称		第 12 回南方地域開校準備委員会
開催日時		令和 8 年 7 月 8 日（水）
		午後 7 時 00 分 開会
		午後 8 時 20 分 閉会
開催場所		南方公民館 2 階 研修室
委員出席者	永 浦 清太郎	委員 南方小学校 P T A
	鈴 木 修 仁	委員 西郷小学校 P T A
	亀 井 希	委員 東郷小学校 P T A
	佐々木 佑 貴	副委員長 南方中学校 P T A
	高 橋 俊 朗	委員 南方小学校学校運営協議会
	熊 谷 一	委員 西郷小学校学校運営協議会
	鹿 野 幸 子	委員 東郷小学校学校運営協議会
	佐 藤 直 也	委員 南方中学校学校運営協議会
	山 田 俊 道	委員長 南方地域行政区長会
	小野寺 綾	委員 南方幼稚園 P T A
	佐 藤 華	委員 南方認定こども園父母の会
	鈴 木 久 美	委員 南方小学校校長
	高 橋 裕 之	委員 西郷小学校校長
	熊 谷 るみ子	委員 東郷小学校校長
	千 葉 和 幸	委員 南方中学校校長
事務局出席者	小野寺 文 晃	登米市教育委員会教育長
	安 部 保 男	学校再編推進室長
	伊 東 智	主幹兼学校再編推進係長
	西 條 貴 伸	学校再編推進室主査
	千 葉 洸 大	学校再編推進室主事
傍聴者		なし
議事		(1) 南方地域開校準備委員会での検討経過について (2) (仮称) 南方小学校の校章原案の補作等について (3) (仮称) 南方小学校の校歌の歌詞について
議事 1		開会 午後 7 時 00 分
	事務局	第 12 回南方地域開校準備委員会を開会する。 (新任委員に委嘱状を交付) (教育長あいさつ) (委員及び事務局職員の紹介)
	事務局	登米市開校準備委員会設置要綱第 8 条の規定により、議長は山田委員長にお願いする。
	委員長	それでは議事に入る。議事 1「南方地域開校準備委員会での検討経過について」事務局に説明を求める。
	事務局	(資料 1-1 及び資料 1-2 に基づき説明)

議事 2	委員長	事務局の説明について、質問や意見はあるか。
	委員	(なし)
	委員長	次に、議事 2「(仮称) 南方小学校の校章原案の補作等について」事務局から説明を求める。
	事務局	(資料 2-1、資料 2-2 及び資料 2-3 に基づき説明)
	委員長	事務局の説明について、質問や意見はあるか。
	委員	原案が決まっているので、補作する教員がそれをもとに色を変えて数パターン作って、次回意見をいただくという方が効率がよいと思う。夏休みが始まるので、その間にいくつかパターンを作ってもらい、それに対して色々出た意見を反映してまたいくつかパターンを作ってというのを何回かやるというのはどうか。
	事務局	補作をお願いする以上、委員会としてある程度の方向性を決めてからお願いしたいと思い、このような形をとったが、色々なパターンの案を作成いただけるのであれば、事務局としてもありがたい。
	事務局	参考だが、米山地域でも、今いただいたご意見のように、補作をお願いした教員に色々パターンを作成いただき、それをもとに検討を行った経緯がある。そこも踏まえてご決定いただきたい。
	委員	東郷小学校の校章を表す翼の部分について、原案では中の線が 4 本になっているが、元々の東郷小学校の校章は 3 本である。この部分は修正した方がよいと思う。
	委員	南方小学校の校章を表す「小」の部分だが、色を付けると隙間がつぶれてややわかりにくくなる(第 10 回南方地域開校準備委員会 参考資料参照)。周りの線を細くするか、中の桜を小さくすると見やすくなるのでは。
	委員	南方小学校の「小」の部分も鳥がモチーフであるとのことだが、東郷小学校の校章を表すものが翼だけだと、「小」の中央の隙間の部分が、翼から脚が生えているように見えてしまう。3 案で投票を行った際の A-005 案(第 11 回南方地域開校準備委員会 資料 1 参照)のように、もっと鳥をしっかりと取り入れた方がまとまりがよいのでは。
	委員	翼の中の線を 3 本にするのはすぐに修正できると思う。色付けしたときに「小」がわかりにくくなるのも、桜そのものを少し小さくすれば何とかなると思う。しかし、A-005 案のように鳥をしっかりと入れてほしいという意見については、原案そのものが変わってしまうため、そこは検討が必要である。補作を行う教員は原案をもとに色付けたりサイズを変えたりするのは可能だが、原案そのものが変わるのであれば、ここで検討いただかなくてはならない。

議事 3	副委員長	翼の部分については、先ほど意見が出たように中の線の数減らすということと、大きさやバランスを東郷小学校の校章に近づけると、もう少し鳥の感じが出るのでは。
	委員	東郷小学校の校章は下の部分が斜めになっているが、原案の「小」は南方小学校のものをモチーフにしている、中央の五角形の縦線が真っすぐになっているため、脚が立っているように見えるのだと思う。少し斜めにするとよいのでは。
	委員	桜を小さくするか、あるいは「小」の位置を少し下げてバランスをとればよいのではないかと。原案は丸の中に収めようとしているように見えるが、別に丸の中に納めなくてもよいと思う。
	副委員長	今出た意見は、全体的に円に近づけすぎているというところである。バランスを調整すれば、各小学校の校章が組み合わされているところが見えてくるといえるところだと思う。 それでは、今まで出た意見のとおり、桜のサイズを小さくするパターンや、「小」の五角形の縦線部分を斜めにする、「小」を少し下げる等でバランスを調整していただくような補作をお願いするということによろしいか。
	委員	確認だが、翼の中の線は3本にするということで統一してよいか。4本と3本のパターンを作ると、案の数が2倍になってしまう。
	委員長	それをお願いします。
	委員	資料2-2にある校章の由来の案についてだが、少し長いと感じる。資料2-1にある南方小学校や西郷小学校の由来よりは少し長くてもよいが、せめてこの案の半分くらいにしたい。
	事務局	長いということは承知していた。あらかじめ短い案を作成して、そこから足していくよりも、長いところから削っていく方が容易であるため、たたき台としてこのような形でお示しした。最終的には、もう少し短いものになると想定している。
	委員長	ほかに意見がなければ、議事2については、以上とする。 次に、議事3「(仮称)南方小学校の校歌の歌詞について」事務局から説明願う。
	事務局	(資料3に基づき説明)
	委員長	ご意見等はないか。
	委員	全体的に歌詞の表現が難しいのではないかと。せっかく作っていただいたものに対して申し訳ないが、他の3小学校のものと見比べても、始まりの部分が「古え」で始まっている点等、小学生が歌うには難しいと

		感じる。
	事務局	実は今日、タイミングよく作詞者からお電話を頂戴した。作詞者自身も、少し難しすぎたかなと感じている部分があるとのことで、子どもたちが歌いやすいように開校準備委員会の中で遠慮なく修正してよいとお話をいただいた。しかし、あまり大きく変えるのは作詞者への失礼にあたるため、歌詞が難しいと感じた部分について発言をいただき、こういったご意見もいただいたということで作詞者にはお伝えしていきたい。
	委員	歌詞を読んだときに、地域に対する愛はたくさん感じられたが、子どもたちが歌うときにもう少しイメージしやすいような歌詞になるとよいと感じた。校歌に入れたい言葉を募集した際に出てきた「なかよく」や「たくましく」というような、普段子どもたちに話しかけているような言葉で思いを確認できるとよい。
	委員	私も、言葉が難しいと感じた。「松樹千年」といった言葉は、なかなか小学生はイメージできないだろうと思う。
	委員	私もこの歌詞を初めて拝見したとき、素直に難しいと感じた。地域の歴史や伝統を大事にして作りたいという話は聞いていたが、やはりこういった言葉は、子どもたちには馴染みづらい。もう少しわかりやすい言葉にしてもらえるとよいと思う。中身的には悪いものではないが、先ほど出た意見のように、子どもたちに直接関わりがある言葉が入っているとよいのでは。
	委員	1番、2番、3番の始まりの母音はそろえなくてよいのか。歌は同じリズムの繰り返しのように思うので、「あ」で始まるのならそろえた方が覚えやすいのでは。
	委員	校歌については、最後の部分がそろっていることは多いが、最初の部分についてはそうでもないように感じる。南方小学校や南方中学校もそろっていない。
	副委員長	出た意見としては、全体的に難しいというところである。もう少し子どもたちにわかりやすいような言葉で修正していただくようになるかと思う。 昨年度、校歌に入れたい言葉を募集していたはずだが、その結果は作詞者にはお渡ししているのか。
	事務局	作詞を依頼する際に、募集結果の資料はお渡ししている（第8回南方地域開校準備委員会 資料3参照）。募集結果が全く反映されていないというより、反映している言葉にかなり偏りがあると感じている。先ほど出た意見にあったような、子どもたちの心情や学校生活の雰囲気を表すような言葉が弱い反面、「南方千本桜」や「大嶽山」といった地域性のある言葉は非常に強く反映されている。そういった部分が、難しいと感じる要因ではないか。また、開校準備委員会を立ち上げた初期の頃に、

		どんな学校にしていきたいかという学校像についても募集をして、集計している（第3回南方地域開校準備委員会 資料2参照）。これは、校章や校歌を検討する際の参考とするという目的でも実施していたため、この資料も追加でお渡ししたいと思っている。
	委員	難しいと感じる言葉を皆で出し合って、そこを直してもらうというのはどうか。
	委員	1番の中では「古え」が難しいのでは。
	委員	「慈愛」、「松樹千年」も難しい。
	委員	部分的に直してもらうよりも、募集した言葉を入れてもらって、言い回しも平易なものに変えてもらって、一度作り直してもらった方がよいと思う。部分的に直していくと、前後で意味がつながらなくなったり、リズムが合わなくなったりするのでは。
	事務局	担当からも話があったとおり、小中学生の皆さんにたくさんの応募をいただいた言葉があまり使われていないということがある。そこをもう少し入れていただけるようお願いしつつ、子どもたちが歌いやすい表現でという部分でお伝えすることはできていると思っている。皆さんからご意見をいただき、先ほど意見が出たような形で依頼をし直すかという部分も踏まえて、ご判断をいただければと思う。
	副委員長	この単語が難しいということをお伝えするのは、作り直していただくうえでも参考になるのではないかと。1番でいえば、先ほど意見が出たところで、2番も「平野（ひらの）」と読むところ、3番でいえば、「雁金」や「桜回廊」というようなところになるかと思う。難しいと感じたところを、委員会で出た意見としてお伝えするのは失礼には当たらないのではないかとと思うが。
	事務局	先ほどもお話ししたが、作詞者も、皆さんの声を聴かせていただきたいとおっしゃっている。本日の皆さんのご意見を文字起こしし、そのままお伝えしたいと考えている。
	副委員長	意見であったように、募集した言葉の、児童の心情の部分等ももう少し入れていただくことと、学校像について募集した結果についてもご提示をいただき、親しみやすいような歌詞にさせていただくということをお伝えいただく。併せて、皆さんから難しいという意見が出た部分もお伝えいただくということでよろしいか。
	委員	既存の3小学校と南方中学校の校歌から言葉を抽出して使っているように感じる。そのまま使うわけにもいけないので、さらに難しい漢字で表現しているということもあるのでは。あまり既存の校歌を意識しなくてよいということもお伝えした方がよいのでは。
	事務局	資料3の作詞者メモにもあるとおり、自分が生まれ育った地域の良さ

その他		を、実際に歩いて思い出しながら書かれたと聞いている。参考にしていると思うが、あまり既存のものにこだわって作ったわけではないと思われる。
	委員長	他に意見等はあるか。 なければ、進行を事務局に戻す。
	事務局	「その他」について、委員から何かあるか。 なければ、事務局から連絡事項がある。
	事務局	今年度初めての会議ということで確認させていただくが、委員の変更により今年度新しく委員になられた方々について、前任の方から過去の資料等は引継ぎを受けているか。過去の資料を見返す場面もあるため、もし資料がないようであれば事務局にご相談いただきたい。
	事務局	引き続き事務局から、次回の会議についてお知らせする。校章の補作、校歌の修正について、先生方をお願いする部分があるため、いつ頃までに対応可能かを確認したうえで次回の日程を設定したいと考えている。おそらく、9月以降になるかと思われる。確定次第、またご連絡する。
	事務局	以上で、第12回南方地域開校準備委員会を閉会する。
		閉会 午後8時20分